



平成20年3月期 中間決算短信

平成19年11月8日

上場会社名 広栄化学工業株式会社 上場取引所 大証二部
 コード番号 4367 URL <http://www.koeichem.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾雅昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経理室長 (氏名) 宮下和彦 TEL (03) 6667-8281
 半期報告書提出予定日 平成19年12月18日

(百万円未満切捨て)

1. 19年9月中間期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	中間(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19年9月中間期	11,683 (6.0)	903 (174.7)	900 (199.5)	575 (238.8)
18年9月中間期	11,021 (18.9)	329 (51.4)	300 (4.2)	169 (△10.7)
19年3月期	23,786 -	1,505 -	1,251 -	664 -

	1株当たり中間 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年9月中間期	23.50	-
18年9月中間期	6.94	-
19年3月期	27.13	-

(参考) 持分法投資損益 19年9月中間期 -百万円 18年9月中間期 -百万円 19年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年9月中間期	22,355	12,299	54.9	501.27
18年9月中間期	23,616	11,329	47.9	461.71
19年3月期	22,823	11,900	52.0	485.04

(参考) 自己資本 19年9月中間期 12,269百万円 18年9月中間期 11,302百万円 19年3月期 11,873百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年9月中間期	1,877	△ 460	△ 877	823
18年9月中間期	1,976	△ 1,129	△ 714	511
19年3月期	3,762	△ 2,811	△ 1,044	287

2. 配当の状況

	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
(基準日)	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	-	6.00	6.00
20年3月期(実績)	-	-	7.00
20年3月期(予想)	-	7.00	7.00

3. 20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	25,200 (5.9)	1,900 (26.2)	1,900 (51.8)	1,000 (50.6)	40.85

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 (中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更) に記載されるもの

- ① 会計基準等の改定に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、10ページ「(5) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」及び「(6) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	19年9月中間期	24,500,000株	18年9月中間期	24,500,000株
	19年3月期	24,500,000株		
② 期末自己株式数	19年9月中間期	22,582株	18年9月中間期	19,250株
	19年3月期	20,083株		

(注) 1株当たり中間純利益 (連結) の算定の基礎となる株式数については、12ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 19年9月中間期の個別業績 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月中間期	9,990	(5.7)	903	(208.6)	904	(238.5)	570	(259.6)
18年9月中間期	9,452	(14.9)	292	(35.6)	267	(△7.4)	158	(△14.5)
19年3月期	20,847	-	1,491	-	1,245	-	677	-

	1株当たり中間 (当期)純利益
	円 銭
19年9月中間期	23.29
18年9月中間期	6.48
19年3月期	27.68

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年9月中間期	21,549	12,280	57.0	501.72
18年9月中間期	22,990	11,294	49.1	461.35
19年3月期	22,369	11,889	53.2	485.70

(参考) 自己資本 19年9月中間期 12,280百万円 18年9月中間期 11,294百万円 19年3月期 11,889百万円

2. 20年3月期の個別業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	22,000	(5.5)	1,900	(27.4)	1,900	(52.6)	1,000	(47.6)	40.85

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、3ページ「1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当上半期のわが国経済は、原油価格の高騰や米国景気減速など懸念材料はありましたが、堅調な設備投資や雇用の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調を続けました。

当社グループの製品関連分野におきましては、ファイン製品関係は堅調に推移いたしました。また、化成品関係は関連業界の需要の一部に停滞が見られました。

このような情勢のもとで、当社グループは、拡販や原燃料価格高騰に対応した売価是正に注力するとともに、製造原価の改善・物流合理化等一層のコストダウン施策を追求する一方、新製品の開発・育成を精力的に推進するなど、全社を挙げて収益の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当中間期の売上高は 116 億 8 千 3 百万円と前年同期に比べ 6 億 6 千 2 百万円 (6.0%) の増収となり、営業利益は 9 億 3 百万円と前年同期比 5 億 7 千 4 百万円 (174.7%)、経常利益は 9 億円と前年同期比 5 億 9 千 9 百万円 (199.5%)、中間純利益は 5 億 7 千 5 百万円と前年同期比 4 億 5 百万円 (238.8%) の大幅な増益となりました。

部門別の状況は、次のとおりであります。

(ファイン製品部門)

医薬品関連化学品では、新製品の販売は増加いたしました。既存医薬品中間体の一部で販売が減少いたしました。機能性化学品は新製品の拡販により増加いたしました。その他ファイン製品の販売も好調に推移いたしました。この結果、この部門の売上高は 74 億 5 百万円 (前年同期比 4.8%増) となり、営業利益は 8 億 3 千 9 百万円 (前年同期比 93.1%増) となりました。

(化成品部門)

多価アルコール類の売上は、販売数量は減少いたしました。原燃料価格の高騰に伴う販売価格の上昇により増加いたしました。その他化成品も堅調に推移いたしました。この結果、この部門の売上高は 42 億 7 千 8 百万円 (前年同期比 8.3%増) となり、営業利益は 6 千 4 百万円 (前年同期は 1 億 5 百万円の営業損失) となりました。

(単位：百万円、未満切捨)

	売上高			営業損益		
	前年中間期	当中間期	増減	前年中間期	当中間期	増減
ファイン製品部門	7,069	7,405	336	434	839	404
化成品部門	3,951	4,278	326	△105	64	170
計	11,021	11,683	662	329	903	574

通期の見通しにつきましては、日本経済はアジア向けを中心とした輸出の増加や順調な設備投資に加え、個人消費も小幅ながら増加が期待されるなど、今後も緩やかな回復が予想されますが、為替や原油価格の動向、米国経済の減速など懸念材料も多く、予断を許さない事業環境が続くものと思われまます。

このような状況におきまして、当社グループは、中期経営計画に定めた高付加価値企業の実現に向け、引き続き拡販、売価是正に努めるとともに、生産改革等による更なる合理化を推進し、また新製品の開発、新規市場・新規顧客・新規用途の開拓を加速するなどコスト競争力の強化、収益力の向上に全力を注いでまいります。

通期の業績見通しといたしましては、売上高 252 億円（前期比 5.9%増）、営業利益 19 億円（前期比 26.2%増）、経常利益 19 億円（前期比 51.8%増）、当期純利益 10 億円（前期比 50.6%増）と予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

キャッシュ・フローの状況

当中間期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益や減価償却費は増加したものの、棚卸資産や仕入債務等の運転資金需要の増加等により、前年中間期に比べて 9 千 9 百万円減少し、18 億 7 千 7 百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資支出が前年中間期を下回ったこと等により 4 億 6 千万円の支出と、前年中間期に比べ 6 億 6 千 9 百万円の支出減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金および短期借入金の返済等により 8 億 7 千 7 百万円の支出となりました。この結果、現金及び現金同等物は前期末に比べ 5 億 3 千 6 百万円増加し、8 億 2 千 3 百万円となりました。

通期の見通しといたしましては、営業キャッシュ・フローは在庫縮減等により投資キャッシュ・フローを上回る収入が予想されるため、借入金は減少する見通しであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成 18 年 3 月期	平成 18 年 9 月期	平成 19 年 3 月期	平成 19 年 9 月期
自己資本比率 (%)	49.3	47.9	52.0	54.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	41.6	32.8	36.0	39.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	291.3	158.1	74.9	110.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	27.1	115.3	97.3	110.2

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、中間連結(連結)キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、中間連結(連結)貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、中間連結(連結)キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（3）利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様の長期的かつ安定的な利益の確保と、当社の各事業年度における業績の状況および将来的な事業展開に備えるための株主資本の充実等とのバランスを総合的に勘案し、利益配分を決定することとしております。

当期の剰余金の配当につきましては、前期より 1 円増配し、1 株当たり年 7 円を予定しております。

2. 企業集団の状況

最近の有価証券報告書（平成 19 年 6 月 26 日提出）における「事業の系統図（事業の内容）」及び「関係会社の状況」から重要な変更がないため開示を省略しております。

3. 経営方針

（1）会社の経営の基本方針

平成 19 年 3 月期決算短信（平成 19 年 5 月 10 日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は、次の URL からご覧いただくことができます。

（当社ホームページ）

<http://www.koeichem.com/>

（大阪証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ））

<http://www.ose.or.jp/listed/index.html>

（2）目標とする経営指標

当社は、コストの削減をはじめ収益性の向上と経営資産のスリム化を重視し、「自己資本利益率（ROE）10%」、「総資産経常利益率 10%」を中期経営計画の目標数値として企業経営に取り組んでまいります。

（3）中長期的な会社の経営戦略と課題

当社グループは、平成 19 年度を初年度とする新たな 3 か年の中期経営計画を策定いたしました。本計画のもと、顧客満足度、従業員満足度の向上を目指し、高付加価値製品を創出する企業としての基盤を確立してまいります。含窒素化合物のベストソリューションプロバイダーとして長年蓄積された高い技術力を活用し、新しいコアテクノロジーの確立と市場開拓を推進して成長拡大を図るとともに、製造・研究部門の千葉地区への統合等の構造改革を推進してまいります。

また、安全・安定操業を基軸に環境問題や製品の安全性、高品質の確保への対応には引き続き万全を期し、顧客の期待に応えられる信頼性の高い企業グループを目指してまいります。

4. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 (19.3.31 現 在)	当中間期 (19.9.30 現 在)	増 減	前年中間期 (18.9.30 現 在)	科 目	前 期 (19.3.31 現 在)	当中間期 (19.9.30 現 在)	増 減	前年中間期 (18.9.30 現 在)
(資 産 の 部)	[22,823]	[22,355]	[△468]	[23,616]	(負 債 の 部)	[10,923]	[10,055]	[△867]	[12,286]
流動資産	(11,551)	(11,330)	(△221)	(11,498)	流動負債	(8,268)	(7,586)	(△682)	(8,632)
現金・預金	287	823	536	511	支払手形・買掛金	4,440	4,503	62	4,472
受取手形・売掛金	5,422	4,749	△672	4,668	短期借入金	2,044	1,448	△596	1,370
棚卸資産	5,321	5,509	188	6,030	未払法人税等	-	176	176	-
繰延税金資産	364	171	△192	219	賞与引当金	125	131	6	125
その他	178	97	△80	86	役員賞与引当金	10	-	△10	-
貸倒引当金	△21	△22	△1	△18	その他	1,648	1,327	△321	2,664
固定資産	(11,272)	(11,024)	(△247)	(12,118)	固定負債	(2,655)	(2,469)	(△185)	(3,654)
有形固定資産	8,477	8,353	△123	8,876	長期借入金	398	264	△134	1,402
建物・構築物	3,388	3,351	△36	3,498	退職給付引当金	1,796	1,759	△36	1,809
機械装置 および運搬具	4,642	4,453	△189	4,912	役員退職慰労引当金	104	88	△15	89
土地	100	100	-	100	その他	357	357	0	353
建設仮勘定	26	125	99	64					
その他	319	322	3	299	(純 資 産 の 部)	[11,900]	[12,299]	[399]	[11,329]
無形固定資産	136	129	△6	143	株主資本	(10,751)	(11,179)	(427)	(10,257)
ソフトウェア等	136	129	△6	143	資本金	2,343	2,343	-	2,343
投資その他の資産	2,658	2,541	△116	3,098	資本剰余金	1,551	1,551	-	1,551
投資有価証券	2,151	2,079	△71	2,047	利益剰余金	6,864	7,292	428	6,369
繰延税金資産	182	180	△2	742	自己株式	△6	△7	△0	△6
その他	404	360	△43	388	評価・換算差額等	(1,121)	(1,090)	(△31)	(1,045)
貸倒引当金	△79	△78	0	△80	その他有価証券 評価差額金	1,125	1,082	△42	1,062
					繰延ヘッジ損益	△3	7	10	△17
					少数株主持分	(26)	(29)	(3)	(26)
資産合計	22,823	22,355	△468	23,616	負債及び純資産合計	22,823	22,355	△468	23,616

（2）中間連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	期 別	前年中間期 (自 18年 4月 1日 至 18年 9月30日)	当中間期 (自 19年 4月 1日 至 19年 9月30日)	増 減		
		金 額	金 額	金 額		
売 上 高		11,021	11,683	662		
売 上 原 価		8,877	9,111	234		
売 上 総 利 益		2,144	2,572	427		
販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費		1,815	1,668	147		
営 業 利 益		329	903	574		
営 業 外 収 益	(108)	(118)	(10)
受 取 利 息 お よ び 配 当 金		25	33	8		
そ の 他 の 収 益		82	84	2		
営 業 外 費 用	(136)	(122)	(14)
支 払 利 息		19	17	1		
そ の 他 の 費 用		116	104	12		
経 常 利 益		300	900	599		
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益		300	900	599		
法 人 税、住 民 税 お よ び 事 業 税		12	105	92		
法 人 税 等 調 整 額		110	216	106		
少 数 株 主 利 益		7	3	4		
中 間 純 利 益		169	575	405		

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前年中間期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

(単位：百万円、未満切捨)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	2,343	1,551	6,330	△ 5	10,219
中間期の変動額					
剰余金の配当			△ 122		△ 122
役員賞与			△ 8		△ 8
中間純利益			169		169
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の中間期の変動額(純額)					
中間期の変動額合計	-	-	39	△ 0	38
平成18年9月30日残高	2,343	1,551	6,369	△ 6	10,257

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計		
平成18年3月31日残高	1,002	-	1,002	19	11,240
中間期の変動額					
剰余金の配当					△ 122
役員賞与					△ 8
中間純利益					169
自己株式の取得					△ 0
株主資本以外の項目の中間期の変動額(純額)	60	△ 17	42	17	59
中間期の変動額合計	60	△ 17	42	17	59
平成18年9月30日残高	1,062	△ 17	1,045	26	11,329

当中間期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位：百万円、未満切捨)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	2,343	1,551	6,864	△ 6	10,751
中間期の変動額					
剰余金の配当			△ 146		△ 146
中間純利益			575		575
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の中間期の変動額(純額)					
当期の変動額合計	-	-	428	△ 0	427
平成19年9月30日残高	2,343	1,551	7,292	△ 7	11,179

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計		
平成19年3月31日残高	1,125	△ 3	1,121	26	11,900
中間期の変動額					
剰余金の配当					△ 146
中間純利益					575
自己株式の取得					△ 0
株主資本以外の項目の中間期の変動額(純額)	△ 42	10	△ 31	3	△ 28
当期の変動額合計	△ 42	10	△ 31	3	399
平成19年9月30日残高	1,082	7	1,090	29	12,299

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前 年 中 間 期 (自 18年4月 1日) (至 18年9月 30日)	当 中 間 期 (自 19年4月 1日) (至 19年9月 30日)	増 減
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前中間純利益		300	900	599
2. 減価償却費		542	624	82
3. 有形固定資産除却損		3	9	5
4. 引当金の増減額 (△は減少)		6	△ 55	△ 62
5. 受取利息及び受取配当金		△ 25	△ 33	△ 8
6. 支払利息		19	17	△ 1
7. 売上債権の増減額 (△は増加)		591	672	80
8. 棚卸資産の増減額 (△は増加)		65	△ 188	△ 254
9. 仕入債務の増減額 (△は減少)		436	62	△ 374
10. その他の増減		23	△ 133	△ 157
小 計		1,965	1,874	△ 90
11. 利息及び配当金の受取額		24	33	8
12. 利息の支払額		△ 17	△ 17	0
13. 法人税等の支払額 (△) 又は還付額		3	△ 14	△ 17
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,976	1,877	△ 99
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 固定資産の取得による支出		△ 1,032	△ 493	539
2. その他の増減		△ 97	32	129
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,129	△ 460	669
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入金純増減額 (△は減少)		△ 580	△ 500	80
2. 長期借入金の借入による収入		800	—	△ 800
3. 長期借入金の返済による支出		△ 811	△ 230	581
4. 自己株式の取得による支出		△ 0	△ 0	△ 0
5. 配当金の支払額		△ 122	△ 146	△ 24
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 714	△ 877	△ 163
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 0	△ 2	△ 2
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		132	536	404
VI 現金及び現金同等物の期首残高		379	287	△ 91
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高		511	823	312

(5) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(会計処理基準に関する事項)

(1) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

- a 平成 19 年 3 月 31 日以前に取得したもの
旧定額法によっております。
- b 平成 19 年 4 月 1 日以後に取得したもの
定額法によっております。

なお、上記重要な減価償却資産の減価償却の方法以外は、最近の半期報告書（平成 18 年 12 月 15 日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

(6) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

(会計処理の変更)

有形固定資産の減価償却方法の変更

法人税法の改正（所得税法等の一部を改正する法律 平成 19 年 3 月 30 日 法律第 6 号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令 平成 19 年 3 月 30 日 政令第 83 号）に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益はそれぞれ 1 百万円減少しております。

(追加情報)

なお、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産については、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から 5 年間で均等償却する方法によっております。

この結果、従来の方法に比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益がそれぞれ 74 百万円減少しております。

(セグメント情報)

1. 事業の種類別セグメント情報

前年中間期 (自 18年4月1日 至 18年9月30日)

(単位: 百万円、未満切捨)

	ファイン製品 部 門	化成品部門	計	消 去 又は全社	連 結
I. 売上高及び営業損益					
売上高					
1. 外部顧客に対する売上高	7,069	3,951	11,021	—	11,021
2. セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,069	3,951	11,021	—	11,021
営業費用	6,634	4,057	10,692	—	10,692
営業損益	434	△ 105	329	—	329

当中間期 (自 19年4月1日 至 19年9月30日)

(単位: 百万円、未満切捨)

	ファイン製品 部 門	化成品部門	計	消 去 又は全社	連 結
I. 売上高及び営業損益					
売上高					
1. 外部顧客に対する売上高	7,405	4,278	11,683	—	11,683
2. セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,405	4,278	11,683	—	11,683
営業費用	6,566	4,213	10,779	—	10,779
営業利益	839	64	903	—	903

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、製造方法、販売市場の類似性等によっております。

2. 各事業区分に属する製品の名称

(ファイン製品部門) 医農薬関連化学品、機能性化学品、その他

(化成品部門) 多価アルコール類、その他

3. 営業費用は、すべて各セグメントに配賦しております。

2. 所在地別セグメント情報

当期および前期については、当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社がないため該当事項はありません。

3. 海外売上高

前年中間期 (自 18年4月1日 至 18年9月30日)

(単位: 百万円、未満切捨)

	アジア	北 米	ヨーロッパ	その 他	計
I 海外売上高	2,130	705	1,399	76	4,311
II 連結売上高					11,021
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	19.3	6.4	12.7	0.7	39.1

当中間期 (自 19年4月1日 至 19年9月30日)

(単位: 百万円、未満切捨)

	アジア	北 米	ヨーロッパ	その 他	計
I 海外売上高	1,906	1,334	1,192	32	4,465
II 連結売上高					11,683
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	16.3	11.4	10.2	0.3	38.2

(1株当たり情報)

前年中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)		当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	
1株当たり純資産額	461円71銭	1株当たり純資産額	501円27銭
1株当たり中間純利益	6円94銭	1株当たり中間純利益	23円50銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり中間純利益の算定上の基礎

項目	前年中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
中間純利益(百万円)	169	575
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る中間純利益(百万円)	169	575
普通株式の期中平均株式数(株)	24,481,500	24,478,085

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

リース取引、有価証券に関する注記については、中間決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

5. 中間個別財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期 (19.3.31 現 在)	当中間期 (19.9.30 現 在)	増 減	前年中間期 (18.9.30 現 在)	科 目	前 期 (19.3.31 現 在)	当中間期 (19.9.30 現 在)	増 減	前年中間期 (18.9.30 現 在)
(資産の部)	[22,369]	[21,549]	[△820]	[22,990]	(負債の部)	[10,479]	[9,268]	[△1,211]	[11,696]
流動資産	(11,073)	(10,500)	(△573)	(10,850)	流動負債	(7,828)	(6,803)	(△1,025)	(8,045)
現金・預金	233	762	529	405	支払手形	126	97	△29	163
受取手形	-	-	-	92	買掛金	3,985	3,682	△303	3,695
売掛金	5,050	4,001	△1,049	4,076	短期借入金	2,044	1,448	△596	1,370
製品・商品	1,228	1,536	307	1,460	未払金	1,465	1,206	△258	2,621
半製品・仕掛品	2,669	2,437	△231	2,825	未払法人税等	-	171	171	-
原材料・貯蔵品	653	720	66	984	預り金	52	35	△17	-
繰延税金資産	364	153	△210	219	賞与引当金	125	131	6	125
短期貸付金	700	803	103	700	役員賞与引当金	10	-	△10	-
未収入金	157	57	△99	58	その他	19	30	11	70
その他	23	34	10	33	固定負債	(2,651)	(2,465)	(△185)	(3,650)
貸倒引当金	△6	△5	1	△5	長期借入金	398	264	△134	1,402
固定資産	(11,295)	(11,049)	(△246)	(12,140)	長期預り金	353	353	0	349
有形固定資産	8,476	8,352	△124	8,876	退職給付引当金	1,796	1,759	△36	1,809
建物	2,360	2,343	△17	2,519	役員退職慰労引当金	104	88	△15	89
構築物	1,027	1,007	△19	979	(純資産の部)	[11,889]	[12,280]	[390]	[11,294]
機械装置	4,636	4,446	△190	4,905	株主資本	(10,767)	(11,190)	(422)	(10,249)
車両運搬具	6	7	0	6	資本金	2,343	2,343	-	2,343
工具器具備品	318	321	2	298	資本剰余金	1,551	1,551	-	1,551
土地	100	100	-	100	資本準備金	1,551	1,551	-	1,551
建設仮勘定	26	125	99	64	利益剰余金	6,880	7,303	423	6,361
無形固定資産	131	125	△5	137	利益準備金	341	341	-	341
ソフトウェア等	131	125	△5	137	その他利益剰余金	6,539	6,962	423	6,020
投資その他の資産	2,688	2,571	△116	3,127	固定資産圧縮積立金	1	1	△0	0
投資有価証券	2,117	2,045	△71	2,014	特別償却積立金	27	24	△3	31
関係会社株式	63	63	-	63	別途積立金	5,502	6,102	600	5,502
長期貸付金	122	90	△32	136	繰越利益剰余金	1,007	834	△173	485
繰延税金資産	182	180	△2	742	自己株式	△6	△7	△0	△6
その他	280	270	△10	250	評価・換算差額等	(1,121)	(1,090)	(△31)	(1,045)
貸倒引当金	△79	△78	0	△80	その他有価証券評価差額金	1,125	1,082	△42	1,062
					繰延ヘッジ損益	△3	7	10	△17
資産合計	22,369	21,549	△820	22,990	負債及び純資産合計	22,369	21,549	△820	22,990

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前年中間期 (自 18年 4月 1日) (至 18年 9月30日)	当中間期 (自 19年 4月 1日) (至 19年 9月30日)	増 減
	金 額	金 額	金 額
売 上 高	9,452	9,990	538
売 上 原 価	7,596	7,682	85
売 上 総 利 益	1,855	2,308	452
販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費	1,563	1,404	△ 158
営 業 利 益	292	903	610
営 業 外 収 益	(106)	(122)	(15)
受 取 利 息 お よ び 配 当 金	25	37	12
そ の 他 の 収 益	81	84	2
営 業 外 費 用	(132)	(122)	(△ 10)
支 払 利 息	17	17	△ 0
そ の 他 の 費 用	114	104	△ 10
経 常 利 益	267	904	637
税 引 前 中 間 純 利 益	267	904	637
法 人 税、住 民 税 お よ び 事 業 税	3	100	97
法 人 税 等 調 整 額	105	234	128
中 間 純 利 益	158	570	411

(3) 中間株主資本等変動計算書

前年中間期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

(単位: 百万円、未満切捨)

	株主資本									株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金						自己株式	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計		
				固定資産 圧縮積立金	特別償却 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
平成18年3月31日残高	2,343	1,551	341	3	-	5,002	986	6,333	△ 5	10,221
中間期の変動額										
剰余金の配当							△ 122	△ 122		△ 122
利益処分による役員賞与							△ 8	△ 8		△ 8
固定資産圧縮積立金の取崩し				△ 2			2	-		-
特別償却積立金の積立					34		△ 34	-		-
特別償却積立金の取崩し					△ 3		3	-		-
別途積立金の積立						500	△ 500	-		-
中間純利益							158	158		158
自己株式の取得									△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の中間期の 変動額 (純額)										
中間期の変動額合計	-	-	-	△ 2	31	500	△ 500	28	△ 0	27
平成18年9月30日残高	2,343	1,551	341	0	31	5,502	485	6,361	△ 6	10,249

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	1,002	-	1,002	11,223
中間期の変動額				
剰余金の配当				△ 122
利益処分による役員賞与				△ 8
固定資産圧縮積立金の取崩し				-
特別償却積立金の積立				-
特別償却積立金の取崩し				-
別途積立金の積立				-
中間純利益				158
自己株式の取得				△ 0
株主資本以外の項目の中間期の 変動額 (純額)	60	△ 17	42	42
中間期の変動額合計	60	△ 17	42	70
平成18年9月30日残高	1,062	△ 17	1,045	11,294

当中間期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位: 百万円、未満切捨)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金						利益剰余金合計
				固定資産 圧縮積立金	特別償却 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
平成19年3月31日残高	2,343	1,551	341	1	27	5,502	1,007	6,880	△ 6	10,767
中間期の変動額										
剰余金の配当							△ 146	△ 146		△ 146
固定資産圧縮積立金の取崩し				△ 0			0	-		-
特別償却積立金の取崩し					△ 3		3	-		-
別途積立金の積立						600	△ 600	-		-
中間純利益							570	570		570
自己株式の取得									△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の中間期 の変動額 (純額)										
中間期の変動額合計	-	-	-	△ 0	△ 3	600	△ 173	423	△ 0	422
平成19年9月30日残高	2,343	1,551	341	1	24	6,102	834	7,303	△ 7	11,190

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	1,125	△ 3	1,121	11,889
中間期の変動額				
剰余金の配当				△ 146
固定資産圧縮積立金の取崩し				-
特別償却積立金の取崩し				-
別途積立金の積立				-
中間純利益				570
自己株式の取得				△ 0
株主資本以外の項目の中間期 の変動額 (純額)	△ 42	10	△ 31	△ 31
中間期の変動額合計	△ 42	10	△ 31	390
平成19年9月30日残高	1,082	7	1,090	12,280

(4) 部門別売上高表

(単位：百万円、未満切捨)

部門	製品グループ	前年中間期 (自18年4月1日 至18年9月30日)		当中間期 (自19年4月1日 至19年9月30日)		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
ファイン製品部門	医農薬関連化学品	3,357	35.5	3,159	31.6	△ 198	△ 5.9
	機能的化学品	1,252	13.3	1,334	13.4	82	6.6
	その他	2,460	26.0	2,911	29.1	451	18.4
	計	7,069	74.8	7,405	74.1	335	4.8
化成品部門	多価アルコール類	1,791	19.0	1,931	19.4	139	7.8
	その他	590	6.2	653	6.5	62	10.6
	計	2,382	25.2	2,584	25.9	202	8.5
合計		9,452	100.0	9,990	100.0	538	5.7

(うち輸出額)

(単位：百万円、未満切捨)

部門名	前年中間期 (自18年4月1日 至18年9月30日)		当中間期 (自19年4月1日 至19年9月30日)		増減	
	金額	輸出比率	金額	輸出比率	金額	増減率
ファイン製品部門	3,487	49.3	3,795	51.2	307	8.8
化成品部門	441	18.5	430	16.6	△ 11	△ 2.6
合計	3,929	41.6	4,225	42.3	296	7.5